



荒川区指定有形文化財(建造物)

いし はま じん じゃ とり い あん えい はち ねん ろく がつ じゅう ろく にち めい
石浜神社鳥居 (安永八年六月十六日銘)

いし はま じん じゃ
所有者 石浜神社 (南千住三丁目)

安永8年(1779)に、幕府御用呉服商の茶屋(中島)四郎次郎延貞が建立。石浜神社中興の神主であった鈴木智庸の代のものです。銘の撰文と書は、国学者で歌人の能書家の三島景雄(自寛)。笠木の小口が蒲鉾形をなし、柱の傾きにも特徴があり、この形式の鳥居は、神明系の「石浜鳥居」と呼ばれています。